

主な議案の紹介

今定例会に提出された議案等107件のうち102件が可決され、成立しました(8面の賛否一覧表をご参照ください)。以下、成立した議案の一部を紹介いたします。
なお、予算等の審査については、6・7面をご覧ください。

平成27年度補正予算
○一般会計(主な補正項目)
・東部市街地排水施設整備事業の組合負担金10億5,277万4千円を積み立てるもの
・国の平成27年度第1号補正による、地方創生加速化交付金を活用し、中心部商店街活性化促進のため必要な経費8,390万円を追加するもの

○特別会計(主な補正項目)
・一般被保険者療養給付費が当初見込み額を上回ることから、必要な経費2億円を追加するもの
○障害を理由とする差別をなくし障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例
○障害を理由とする差別の解消に障害を理由とする差別の解消に際し、基本理念、市、事業者および市民の責務、市が実施する基本的な施策等を定めることともに、仙台市障害者差別相談調整委員会を設置するもの
○各種使用料及び手数料の改定等に関する条例
○受益者負担の適正化の観点から、受給者負担および手数料を改定する等のもの
○事務分掌条例の一部を改正する条例
○市民局の事務のうち国際交流に

関する事項ならびに文化およびスポーツの振興に関する事項ならびに経済局の事務のうち観光に関する事項を分掌させるため文化観光局を設置することともに復興事業局を廃止する等のもの
○市長等の給与に関する条例等の一部を改正する条例
平成28年4月1日から平成29年3月31日までの間における市長等の給料月額を減額するとともに、市長および副市長の地域手当の支給割合の特例を定める等のもの
○職員給与に関する条例等の一部を改正する条例
人事委員会の市議会および市長に対する職員の給与等に関する報告および勧告ならびに報告と他の地方公共団体の職員の給与との改定措置等を考慮し職員の給料および勤労手当の支給割合

を改定するとともに、「地方公務員法」の改正に伴い等級別基準職務表を定める等のもの
○敬老乗車証条例の一部を改正する条例
敬老乗車証のICカード化に關し必要な事項を定めるとともに、平成23年東北地方太平洋沖地震の被災者に係る負担額に関する特例を廃止する等のもの
○市営住宅条例の一部を改正する条例
仙台駅東市営住宅に復興のための市営住宅の部分に加えて一般の市営住宅の部分の設けるもの
○副市長の選任
藤本 章
○固定資産評価審査委員会の委員の選任
永山 勝教、高橋 直子、千葉 芳信、田中 直子

○土地利用審査会の委員の任命
内田 美穂、菅野 育男、佐々木 真理、内藤 千香子、平野 勝也
○宮城県公安委員会の委員の推薦
相澤 博彦
○人権擁護委員候補者の推薦
酒井 久子、竹川 訓由、酒井 恵、佐々木 好志、繁野 みどり、田代 ひとみ、高森 勝治
○人事委員会の委員の選任
高橋 裕
○議員提出議案
議案第3号 政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例
政務活動費に係る収支報告書等の提出期限に關し、所要の規定整備を行うもの
議案第4号 市議会委員会条例の一部を改正する条例
常任委員会の所管を改めるもの

意見書
第1号 「女性の健康の包括的支援に関する法律(仮称)」の成立を求める件
女性の健康支援対策の総合的かつ計画的な推進を求めるもの
第2号 「青少年健全育成基本法」の制定を求める件
青少年健全育成に関する施策を推進するための法整備を求めるもの
○可決した意見書は、国会および関係行政庁に提出しました。
決 議
第1号 北朝鮮の核実験及びミサイル発射に対する抗議に関する件
北朝鮮の暴挙に抗議し、日本政府に対して毅然とした措置を講じよう求めるもの
第2号 G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議の開催に関する件
万全の態勢で会議に臨み、訪れる方々に歓迎の意を表するもの

自由民主党

赤間 次彦 議員

問 震災復興と未来へつなぐ仙台的街づくり

答 被災から丸5年を迎える。これまでの復旧・復興の総括と未来に向けた街づくりについて伺う。

問 被災された方々と対話を積み重ね、住まいの再建を最優先として早期の復興に取り組んできた。東部地域の農業の六次産業化や起業の活性化等、震災を契機として新たな可能性が広がっており、震災で得た経験を今後の仙台的まちづくりの力として、市民の皆さまと共に進んでまいりたい。

答 きめ細かな地域づくりを進めるための地域への支援体制の強化や町内会をはじめとする地域団体との協働・連携の充実を図り、サービスの拠点である区役所・総合支所の機能強化に努めたい。

問 国内のホール系施設の立地特性や課題等、基礎的な項目の調査を行っている。今後、専門家等の意見を伺い、「案部仙台」の拠点としての機能と規模等について検討を深めたい。

答 音楽ホール整備の機運と期待が高まっているが、基礎調査の成果を伺う。

問 本年2月、本市中学生が自死に至った悲しく残念な事案があった。教育局は命の尊さを考えさせる指導の徹底を指示したが、自死を防ぐためには、教師側からの一方的な指導ではなく、自死に対する生徒自身の考えを引き出すことが必要だ。アクティブ・ラーニングを活用した教育プログラムを早急に組むべきと考えるが、見解を伺う。

問 民間主体に道路等の公共空間を開放しまちのにぎわい創出を図る特区に事業に關し、定禅寺通北側2車線を車両通行止めとし、市民広場から西公園までをカフェテリア等に開放して一体的に活用を進める案について可能性と所見を伺う。

答 自死の問題を見つめて命の尊さについて考えを深めたり、議論を通して自己の生き方について考えを広げたりするなど、アクティブ・ラーニングの視点も取り入れ、子どもたちの自己肯定感・入用感を育む授業や活動に取り組みよう各学校を指導する。

市民フォーラム台

村上 かずひこ 議員

問 本市中学生が自死に至った事案について

答 関係機関や地域の方との十分な調整が必要だが、定禅寺通に

問 民間主体に道路等の公共空間を開放しまちのにぎわい創出を図る特区に事業に關し、定禅寺通北側2車線を車両通行止めとし、市民広場から西公園までをカフェテリア等に開放して一体的に活用を進める案について可能性と所見を伺う。

答 自死の問題を見つめて命の尊さについて考えを深めたり、議論を通して自己の生き方について考えを広げたりするなど、アクティブ・ラーニングの視点も取り入れ、子どもたちの自己肯定感・入用感を育む授業や活動に取り組みよう各学校を指導する。

代表質疑

公明党

菊地 昭一 議員

問 震災復興計画期間終了後も継続した復興の取り組みを

答 間もなく震災から5年を迎え、防災集団移転等の基幹事業はおおむね終了したが、いまだ4206世帯の方が仮設住宅に住んでいる。一人一人が生活再建、心の復興ができるまで復興の取り組みの継続を求める。

問 今回の使用料の改定は、市民利用施設全般に及んでいる。利用される市民の方々に、見直しに至った経過や改定内容等について丁寧に説明するよう努めるべき。

答 施設ごとの新旧対照表および改定の経緯や考え方をホームページで公開している。今後、市政だよりで改定の概要等をお知らせするほか、ホームページで施設ごとの改定内容を分かりやすく掲載したい。さらに施設における周知など、より丁寧に説明に努めたい。

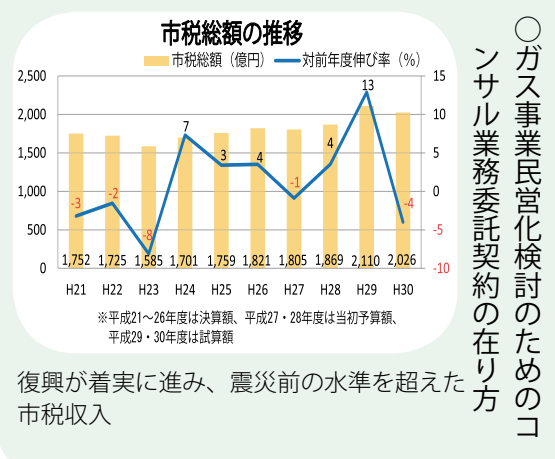
問 今回の使用料の改定は、市民利用施設全般に及んでいる。利用される市民の方々に、見直しに至った経過や改定内容等について丁寧に説明するよう努めるべき。

答 施設ごとの新旧対照表および改定の経緯や考え方をホームページで公開している。今後、市政だよりで改定の概要等をお知らせするほか、ホームページで施設ごとの改定内容を分かりやすく掲載したい。さらに施設における周知など、より丁寧に説明に努めたい。

問 28年度予算における市税収入が27年度より伸びており、特に固定資産税のうち家屋に課される税金が大きい。住宅建設が順調に進んでいるためと考えるが、今後の市税の推移についての分析を伺う。

問 災害危険区域内の集団移転跡地の活用について、意見やアイデアの募集を開始した。復興計画では東部沿岸地域を「農と食のフロントゾーン」と位置付けていたが、募集する際に紹介された事例は農と食を飛び越え、何でもありともれる募集内容である。本市における位置付けや条件を明確にし、具体的提案につなげるべき。

答 今後更堅調に推移すると見込むが、景気状況等により変動する可能性もあり、樂觀せずに社



復興が着実に進み、震災前の水準を超えた市税収入

社民党

相沢 和紀 議員

問 28年度予算における市税収入が27年度より伸びており、特に固定資産税のうち家屋に課される税金が大きい。住宅建設が順調に進んでいるためと考えるが、今後の市税の推移についての分析を伺う。

答 今後更堅調に推移すると見込むが、景気状況等により変動する可能性もあり、樂觀せずに社

問 災害危険区域内の集団移転跡地の活用について、意見やアイデアの募集を開始した。復興計画では東部沿岸地域を「農と食のフロントゾーン」と位置付けていたが、募集する際に紹介された事例は農と食を飛び越え、何でもありともれる募集内容である。本市における位置付けや条件を明確にし、具体的提案につなげるべき。

答 今後更堅調に推移すると見込むが、景気状況等により変動する可能性もあり、樂觀せずに社

日本共産党

花木 則彰 議員

問 被災者に対する医療費・介護利用料免除の継続を

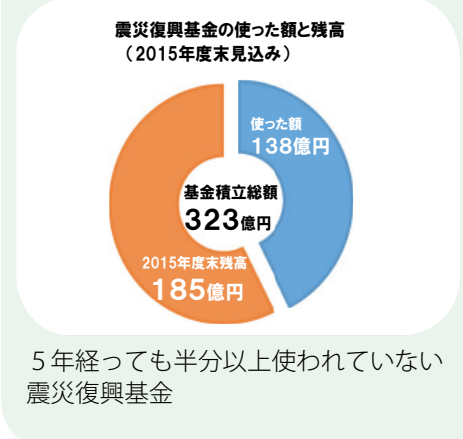
答 被災者に対する国保と介護の一部負担金免除について、他自治体が継続を次々と決断する中、財政力のある仙台市が真っ先に打ち切ることが許されない。命を守ることを優先される事業はない。制度を継続し、国に財源を求めよ。

問 210の市民利用施設の使用料等値上げについては、まず市長が直接市民に説明し意見を聴くべきだ。多くの施設は市民の学びの場や文化風土に関わるものであり、財政的な理由で値上げすべきではない。議案を撤回し、あらためて文化スポーツ等について市民と語り合っていくべき。

答 本市では、30年以上使用料の見直しを行っておらず、受益と負担の適正化の観点から見直しは必要と認識している。見直しに当たっては、パブリックコメントで

問 210の市民利用施設の使用料等値上げについては、まず市長が直接市民に説明し意見を聴くべきだ。多くの施設は市民の学びの場や文化風土に関わるものであり、財政的な理由で値上げすべきではない。議案を撤回し、あらためて文化スポーツ等について市民と語り合っていくべき。

答 本市では、30年以上使用料の見直しを行っておらず、受益と負担の適正化の観点から見直しは必要と認識している。見直しに当たっては、パブリックコメントで



5年経っても半分以上使われていない震災復興基金

子ども議会(議会体験プログラム)

仙台市議会では、小学校5年生から高校3年生までの団体を対象に「子ども議会(議会体験プログラム)」を実施しています。児童・生徒が議員や市の職員の役になり、学校建設等のシナリオを演じながら議会の仕組みを学ぶことができます。

- ◆定員 10～60人程度(60名を超える場合は要相談)
- ◆職員 ※議長・委員長・委員などセリフのある役は、15人程度
- ◆実施日 本会議・常任委員会などの開催日、年末年始、祝日などを除く平日に実施
- ◆お申し込みの際に調整させていただきます
- ◆所要時間 1時間～1時間20分程度
- ◆参加費 不要
- ◆※往復の交通については、参加者側での手配・負担をお願いいたします。

～当日の流れ～

- 議会の仕組みを説明 「議会の仕組み・役割」などを分かりやすく説明します。
- 常任委員会を体験 委員会室で、議案の提案理由の説明、審査、討論、採決を体験します。
- 本会議を体験 議事堂3階の本会議場へ移動して、常任委員会の委員長報告、討論、採決を体験します。
- 議員への質問タイム 本会議の終了後に、市議会議員への質問タイムを設けています。皆さまの質問に、議員が丁寧に答えます。

皆さまのご参加をお待ちしております。

<お申し込み・お問い合わせ>
仙台市議会事務局調査課 電話：022-214-6169 F A X：022-265-9626 Eメールアドレス：gik024530@city.sendai.jp